

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 飯田市

1 事業の趣旨・目的

現在国際学級やボランティア日本語教室等で指導している人、また、これから日本語の指導をしたいと希望している人に、ボランティア教室等で日本語を指導する上での必要な知識等を学んでもらい、講座修了後は既存の日本語教室の質の向上や、新しい日本語教室の立ち上げも視野にいった活動ができる人材を育成すること。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
10月2日	飯田市公民館	春原、樫野氏原、大澤	・講座内容、講師について ・受講者募集方法について ・講座運営方法について	講座全体のメニュー、受講者募集方法については概ね事務局案で合意。細かい内容、講師について提案や意見交換がされた。
11月10日	飯田市公民館	春原、樫野氏原、吉澤大澤	・講座内容、講師について ・受講者募集状況について ・第5回講座の発表者選定	第1回講座を前に、最終の講座案(講師、内容)について合意。多くの受講希望があったことを確認。第5回に事例発表をする地元外国籍市民の選定を行った。
12月19日	飯田市公民館	春原、樫野氏原、吉澤大澤	・第1回～4回講座について ・第5回発表者について ・講座後半について	終了した1回～4回の講座についての反省。第5回の事例発表者の確認。講座後半のワークショップ等の進め方について検討した。
2月14日	飯田市公民館	春原、氏原吉澤、大澤	・第5回～9回講座について ・第11、12回ワークショップについて ・受講者アンケートについて	この間に行われた5回～9回の講座について反省。第11、12回の実践にむけてのワークショップの進め方を検討した。
2月28日	りんご庁舎	春原、氏原吉澤、大澤	・講座全体の反省 ・今後について	受講者アンケートを見ながら全体の反省をし、講座修了者を今後どのように活用していくかを検討した。

【写真】(会議風景の写真を1～2枚参考に添付して下さい。)

運営委員会会議風景は写真を撮ってありません。

3 養成講座の内容について

- (1) 養成講座名 : 飯田市公民館日本語支援者養成講座
- (2) 養成講座の目標 : 地域の日本語教室や学校等で、日本語を母語としない人に日本語を教える指導者を養成する。既に活動している人のスキルアップをはかる。
- (3) 受講者の総数 269 人
- (4) 開催時間数(回数) 25 時間 (12 回) (2.5 時間×2 回+2 時間×10 回)
- (5) 参加対象者の要件: 現在日本語ボランティアとして活動している、または今後日本語ボランティアとして活動する意欲のあるひと。及び日本語以外の母語を使用し学校などにおいて日本語指導を行っている、または指導者を目指しているひと。
- (6) 受講者の募集方法
 - ① 飯田市広報 10 月 15 日号 〈* 別紙1参照〉
 - ② 地元新聞紙上
- (7) 研修会場: 飯田市公民館
- (8) 使用した教材・リソース: 統一のものではなく、その都度講師が準備するものを使用した。

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
11月15日 10:00～12:00	概論 外国語としての日本語	信州大学准教授 坂口 和寛	26名
11月29日 10:00～12:00	異文化コミュニケーション	日本語教師 松岡 純子	26名
12月5日 13:30～16:00	地域の現状 ボランティア教室の運営等	前長野県国際交流推進協会 事務局長 春原 直美 日本語ボランティア 下平千津子	22名
12月13日 10:00～12:00	日本語1 日本語文法基礎知識1	日本語教師 関井 朱美	26名
12月20日 10:00～12:00	外国人からの視点	外国籍市民 長沼 映子 今村ミリアム、中島 文映	17名
1月17日 10:00～12:00	日本語2 日本語文法基礎知識2	日本語教師 関井 朱美	26名
1月24日 13:30～16:00	教授法1 日本語学校の授業を通して	長野国際文化学院教務主任 平澤 栄子	27名
1月31日 10:00～12:00	年少者の日本語 学校現場の外国籍の子どもたち	神奈川国際交流財団外国人教育 相談コーディネーター 山野上 麻衣	21名
2月7日 14:00～16:00	教材 選び方、使い方、独自教材	浜松学院大学教授 横内 美保子	19名
2月14日 14:00～16:00	教授法2 日本語学習のサポート	(財)海外技術者研修協会関西研 修センター日本語講師 澤田 幸子	20名
2月20日 10:00～12:00	実践に向けて ワークショップ1(教案づくり)	前長野県国際交流推進協会 事務局長 春原 直美	17名
2月27日 10:00～12:00	実践に向けて ワークショップ2(教室活動)	特になし	22名

(10) 講座の評価

- ① 受講生に対するアンケート * 別紙2ー各回の感想をまとめたもの } を参照のこと
* 別紙3ー修了者アンケートのまとめ

② 実施主体からの研修内容結果評価

- ・ 大勢の方に受講していただき、新しいボランティアの発掘と養成、現在活動中の方のスキルアップにつなげることができた。
- ・ 具体的な研修項目については、初心者がわかるということに焦点をあてたつもりだが、受講者の個人差もあり、それぞれの理解度には差が出たようだ。講師との事前打ち合わせ等をもう少し細かく行う必要があった。
- ・ 講座全体を通し、各回に少しずつでも受講者同士が話したり一緒に考えたりする活動を取り入れたことは、受講者同士の信頼関係を築き、講座の雰囲気をもよ

くすることにつながる効果があった。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

- ・ 支援者のスキルアップ講座等による既存の日本語教室の充実
- ・ 新しい日本語教室の立ち上げと運営
- ・ 進学ガイダンスの実施等外国籍児童、生徒及びその保護者の支援

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

- ・ 飯田国際交流推進協会、飯田市男女共同参画課、各地区公民館等が行う事業への協力

② 研修後の人材活用

- ・ 既存の日本語教室で活動を始めたい講座修了者には、活動開始ができるよう支援をしていく。
- ・ 研修修了者を中心とした新しい日本語教室をひとつ立ち上げ、運営していけるよう支援する。

(12) 今後の課題（外国人の日本語学習支援において）

- ・ 日本語学習を支援している人たちには、今回のような研修の機会がとても少なく、今後も継続してなんらかの研修の場を定期的に設けていく必要がある。
- ・ 日本語学習者のニーズ(学習項目や環境)を把握し、現在の教室活動へ反映させ、よりニーズに近い教室運営ができることが望ましい。